

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害福祉課
評価対象期間	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立きく工芸舎	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市小倉南区春ヶ丘 1 0 番 1 1 号		
	設置目的	利用者の作業支援、生活支援、健康管理その他の支援を行うことにより障害者の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ <u>完全利用料金制</u>		
		インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会		
	所 在 地	北九州市戸畑区汐井町 1 番 6 号		
指定管理業務の内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害福祉サービス事業所（生活介護、就労継続支援（B型））の管理運営 		
指定期間		平成 2 3 年 4 月 1 日～平成 2 6 年 3 月 3 1 日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント				
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み				
(1) 施設の設置目的の達成				
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。				
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。				
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。				
【所見】				
<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に沿った適切な管理運営が行われており、各サービスにおいて、個別支援計画等に基づき、利用者の障害特性や個別のニーズにあったサービス提供に努めている。 ・利用者のニーズに合わせた支援を行うため、現状サービスの見直しを優先し実施したこと等による利用サービスの変更や、長期入院等による利用解除等により、施設利用率は97.2%となっている。(H25目標は106%) ・広報紙（年5回・約178部/回）や、利用者が作成する「どりよく新聞」（月1回）を発行するほか、ホームページの更新（月2～3回程度）行うなどの広報活動を実施している。(ホームページの内容の充実に力をいれた結果、法人内で2度優秀賞受賞) ・就労継続支援B型における工賃は、目標9,000円を下回り8,396円となっている。(H25年度：8,609円) 				
【利用率】 単位：%				
年度	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度
目標値	—	96	106	106
実績	104.3	105	102.1	97.2
【月平均工賃額（就労継続B型）】 単位：円				
年度	H24年度	H25年度		
目標値	6,000	9,000		
実績	8,509	8,396		
※就労継続B型事業はH24年度開始。				
(2) 利用者の満足度				
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。				
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。				
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。				
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。				
⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、そ				

の効果があつたか。

⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があつたか。

【所見】

- ・アンケートの結果、施設の各サービスの「とても良い」、「良い」を合わせた評価は、84%以上となっており、利用者の満足度は高いものとなっている。
- ・活動メニューの説明等に、利用者個々に配慮した情報提供に取り組んでいる。また、当事者会（毎月1回）や家族会（各月1回開催）では、利用者や家族の意見要望を把握し、サービスへ反映させるよう努めている。
- ・利用者からの苦情に対して適切に対応していくため、法人として苦情解決制度を設けており、また、施設としても利用者からの出された意見や苦情等に対して適切に対応している。
- ・地域で単身生活をしている利用者に対し、グループホーム等の関係機関との連携による支援に努めている。
- ・生産活動、創作・生きがい活動（音楽、スポーツ、調理など）のメニューを、利用者・家族の希望調査を反映させて実施する等、支援体制作りに努めている。

施設の総合評価

【満足度】

単位：%

年度	H23年度	H24年度	H25年度
目標値	90	90	95
実績(生活介護)	83.2	80.4	84.1
実績(就労支援)			84.4

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があつたか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

【所見】

- ・職員による清掃の実施や、入札による契約などにより経費の削減に取り組んでいる。
- ・事業所内の整理整頓、清掃に力をいれた結果、個人情報保護の徹底やIT化によるペーパーレス化・印刷物にかかる消耗削減が図られている。

【光熱水費】		単位：千円		
年度	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度
予算	—	2,350	2,220	2,013
決算	2,183	1,761	1,796	1,808

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

- 提供するサービスは法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫はできない。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。

② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。

③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。

[所見]

- 施設内において管理運営にあたる人員は適正に配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。
- 相談支援、触法研修等の施設外の研修に職員を積極的に受講させるとともに、法人主催の研修により、職員の資質の向上を図っている。
- 職員の自己評価調査を実施し、現状確認や課題の洗い出しを行うなど、今後の支援に向けた取り組みがなされている。
- 施設の行事やイベント、レクリエーションなどに、地域の学生等がボランティアとして参加し、交流が図られている。
- 「地域交流ふれあい音楽会」やもちつき大会を開催、「小倉南総合防災訓練」の参加、自治連合会、地域住民やボランティアとの交流、障害の理解促進に努めている。また、毎月、近隣の公園にて、フラワーコーディネーターの協力により、清掃活動や花苗植え、草抜き等のボランティア活動などの地域貢献にも取り組んでいる。
- 職場実習として、専門学校生や大学生を実習生として19名を受け入れ、将来の社会福祉人材の育成に貢献している。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。

② 施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。

③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。

- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。
- ⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

【所見】

- ・利用者の個人情報保護、衛生管理及び事故防止等について、マニュアルを整備し、適切な運営に努めている。
- ・危機管理体制を整えており、「ヒヤリハット」の速やかな対処と職員間の情報共有を図るなど、事故に対する意識向上に取り組んでいる。
- ・インフルエンザ等の感染症対策として、消毒液やうがい液の設置による施設内の感染予防、利用者や家族等に対する注意喚起、利用者の健康管理を行い、利用者の感染防止に努めている。
- ・定期的なカンファレンスにより、利用者支援についての振り返りを行うなど、適切な支援に向けた取組みが行われている。
- ・避難訓練、AED研修会、防災情報の収集など、救急救命に対する職員の技術及び意識向上に取り組んでいる。特に災害時の対応については、北方校区防災会に加入及び小倉南区総合防災訓練へ積極的に参加する等、注意喚起に努めている。

【総合評価】

【所見】

事業計画に沿って施設の運営管理が適切に行われており、利用率等の目標を下回っているが、利用者が中心となったサービスの提供が出来ているかの見直しや事業所内の整理整頓等に重点的に取り組むなど、利用者・家族からの意見や要望をサービスに反映させることに努めている。